

きらめ 門司の灯りが小さな珠をつないだように燦く

松本清張『半生の記』より



東郷中学校
学校だより
**燦
たり
東郷**

8 2026
月号

発行：2026/8/31
校長 神村 恭子

夏休みが明け、学校生活が再び始まりました。私の夏の思い出として、夏休み明けの全校集会では、日本を代表する作家・松本清張さんの生き方についてお話ししました。北九州市にもゆかりの深い人物ですが、決して恵まれた環境で育ったわけではありませんでした。家計を助けるために15歳から働き始め、作家として本格的にデビューしたのは41歳の時でした。「劣等感を払いのけるために努力した」と本人が語るように、あきらめずに努力を継続したことが、その後の大きな開花につながったのです。集会でも伝えた通り、「自分には無理だ」と自分の可能性や未来を自分で決めつけないでください。人はいつ自分の力を発揮できるかは誰にもわかりません。特に進路に悩む3年生はもちろん、1・2年生も「自分にできることは何か」と考え、今日の10分、今日の1ページという小さな努力を大切に積み重ねていきましょう。夏休みに経験したことや見た景色も、将来の皆さんをつくる大切な一部分になります。

昨日より半歩でも前へ前進する皆さんの今後の成長を楽しみに応援しています。

保護者の皆様へ

前期後半がスタートしました。文化学習発表会で締めくくる前期後半には、その他懇談会、説明会など、東郷中学校に足を運んでいただく機会が多くあります。ご理解とご協力をお願いいたします。

また夏休み明けのこの時期は、心身ともに疲れが出やすく、不安を感じやすい時期です。ご家庭でもお子さまの様子の変化にご注意ください。こんなサインはありませんか？

- ☐ 朝起きられない・食欲がない
- ☐ なんとなく元気がない・口数が減った
- ☐ イライラしやすい・部屋に閉じこもる
- ☐ 「お腹が痛い」など身体の不調を訴える

些細な変化でも、子どもたちの発する大切なサインかもしれません。気になる様子があれば、いつでもご相談ください。

夏 まつり



8月8日(土)本校の中庭で「大積校区夏祭り」が行われました。本校からも数名の生徒がボランティアとしてお祭りの運営に参加しました。どんな店を出して、何を売るかなど、大積壮年団の方と熱心に話し合い、企画の段階から参加させていただきました。お祭り当日には元気よく楽しそうに参加している姿が見られました！

白野江校区では10/3「誰もしらね～まつり」11/14,15「白野江校区まつり」での中学生ボランティアを募集しています！地域のボランティア活動に挑戦してみませんか？

